

## 眼の調節機能に及ぼす鍼刺激の影響

明治鍼灸柔道整復専門学校  
教員 ◎ 西田章通、安藤文紀、中村辰三

近視眼に対する鍼治療の報告は多数あるが、自覚的な視力のみを評価の対象としたものが多く、客観的に調節機能について述べたものは少ない。

そこで今回、我々は視力検査に加え、客観化の指標として、最大限の調節で明視できる最も近い点である近点と、無調節状態で明視できる最も遠い点である遠点の距離をそれぞれ求め、さらに眼の屈折状態を、近視眼では球面レンズ、乱視眼では円柱レンズの度であらわした屈折力を他覚的に求めた。

治療は、本校学生の近視眼者で正視眼及び円柱屈折力1D以上の乱視眼を除いた者を対象とし、毛様体神経節刺激・上眼窩内刺激および風池・太陽・上関・合谷の各経穴に置鍼を行った。

鍼治療前及び治療10回後にオートレフラクトメーターによる屈折力、アコモドポリレコーダーによる近点・遠点及びランドルト環を指標として遠見視力を測定し、鍼治療の影響について検討したところ、視力とともに屈折力及び近点・遠点に興味ある変化が得られたので報告する。

MEMO

---